



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年10月31日

上場会社名 山陽特殊製鋼株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5481 URL <https://www.sanyo-steel.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮本 勝弘
 問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 柳本 豊 TEL 079-235-6004
 四半期報告書提出予定日 2022年11月11日 配当支払開始予定日 2022年11月30日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績 (2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	195,408	6.6	13,174	26.7	13,719	30.8	9,870	35.4
2022年3月期第2四半期	183,294	88.6	10,397	—	10,491	—	7,290	—

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 16,461百万円 (70.1%) 2022年3月期第2四半期 9,678百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	181.15	—
2022年3月期第2四半期	133.79	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	394,929	212,815	53.4
2022年3月期	377,911	198,845	52.1

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 210,860百万円 2022年3月期 196,994百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	45.00	—	45.00	90.00
2023年3月期	—	55.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	30.00	85.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2023年3月期の連結業績予想 (2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	385,000	6.0	19,600	△8.5	20,000	△7.7	14,600	△4.4	267.95	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期2Q	54,507,307株	2022年3月期	54,507,307株
2023年3月期2Q	20,859株	2022年3月期	19,566株
2023年3月期2Q	54,487,417株	2022年3月期2Q	54,489,931株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想等につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいて当社グループで判断したものであります。予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績等はこれらの予想数値と異なる場合があることをお含みおきください。(業績予想に関する事項につきましては、【添付資料】4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。)

【添付資料】

(目次)

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報)	12
参考資料	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期(2022年4月1日～2022年9月30日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が緩和される中、総じて持ち直しの動きがみられました。景気の先行きにつきましては、感染対策により経済社会活動の正常化が進む中、各種政策の効果もあり、景気の持ち直しが続くことが期待されるものの、世界的な物価高騰を受けて金融引締めが続く中、海外景気の下振れがわが国経済に与える影響に十分に注意する必要があるなど、不透明な状況にあります。

特殊鋼業界におきましては、建設・産業機械向けの需要はおおむね堅調に推移しましたが、半導体不足や中国の都市封鎖に伴うサプライチェーンの混乱を受けた自動車減産の継続などにより、特殊鋼熱間圧延鋼材の生産量は、前年同期を下回りました。

このような中、当社グループの売上高は、スウェーデンの連結子会社Ovakoの決算期変更影響(注)や自動車減産の影響はありましたが、鉄スクラップサーチャージの適用等に伴う販売価格の上昇などにより、前年同期比121億14百万円増の1,954億8百万円となりました。利益面では、鉄スクラップをはじめとする原燃料価格の上昇やOvakoの決算期変更影響はありましたが、鉄スクラップサーチャージの適用等に伴う販売価格の上昇や構成の高度化によるマージンの改善、Ovakoの収益改善などにより、経常利益は、前年同期比32億28百万円増の137億19百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比25億80百万円増の98億70百万円となりました。

(注) 2022年3月期よりOvakoの決算期を従来の12月から当社単独と同じ3月へ変更し、同社は2021年1月～2022年3月の15ヵ月決算を行いました。これにより、前年同期の連結決算値には、2021年1月～9月期の同社損益およびのれん償却費を織り込んでおり、そのうち、2021年1～3月期の同社損益(売上高303億83百万円、経常利益25億29百万円)およびのれん償却費▲6億72百万円を決算期変更影響としております。

当第2四半期損益の概要(2022年4月1日～2022年9月30日)

(単位:千t、億円、円/株)

	当第2四半期	前年同期	差引増減	増減率(%)
売上数量	812	1,079	-267	-24.7
(内、当社単独)	458	511	-53	-10.4
(内、Ovako)	303	511	-208	-40.7
(内、SSMI)	51	57	-6	-10.1
売上高	1,954	1,833	+121	+6.6
(内、当社単独)	965	796	+169	+21.3
(内、Ovako)	857	930	-73	-7.8
(内、SSMI)	99	77	+22	+29.1
営業利益	132	104	+28	+26.7
(内、当社単独)	53	48	+5	+10.6
(内、Ovako)	88	70	+18	+25.5
(内、SSMI)	▲1	3	-4	—
(内、のれん償却費)	▲14	▲20	+6	—
経常利益	137	105	+32	+30.8
(内、当社単独)	70	52	+17	+33.6
(内、Ovako)	89	68	+21	+30.6
(内、SSMI)	▲2	2	-3	—
(内、のれん償却費)	▲14	▲20	+6	—
税後利益(注4)	99	73	+26	+35.4
1株当たり税後利益	181.15	133.79	+47.36	+35.4
のれん償却費を除く営業利益	146	124	+22	+17.7
のれん償却費を除く経常利益	152	125	+26	+21.2
のれん償却費を除く税後利益	113	93	+20	+21.5
のれん償却費を除く1株当たり税後利益	207.53	170.83	+36.70	+21.5

(注1) 金額は億円未満を四捨五入しております。

(注2) 前年同期のOvakoの売上数量および損益、のれん償却費は、2021年1～9月実績を織り込んでおります。

(注3) Mahindra Sanyo Special Steel Private Limited (MSSS)は、2022年6月23日付でSanyo Special Steel Manufacturing India Private Limited (SSMI)に商号変更しております。

(注4) 親会社株主に帰属する四半期純利益。

セグメント別の売上高および営業損益の状況は、次のとおりであります。なお、各セグメントの売上高につきましては、セグメント間の内部売上高又は振替高が含まれております。

鋼材事業

当第2四半期の売上高は、Ovakoの決算期変更影響や自動車減産の影響はありましたが、鉄スクラップサーチャージの適用等に伴う販売価格の上昇により、前年同期比111億48百万円増の1,878億51百万円となりました。営業利益は、原燃料価格の上昇やOvakoの決算期変更影響はありましたが、鉄スクラップサーチャージの適用等に伴う販売価格の上昇や構成の高度化によるマージンの改善、Ovakoの収益改善などにより、前年同期比25億95百万円増の123億67百万円となりました。

粉末事業

当第2四半期の売上高は、自動車減産の影響はありましたが、産業機械向けの売上数量増加などにより、前年同期比4億23百万円増の26億5百万円となりました。営業利益は、売上数量の増加や合金サーチャージの適用等に伴う販売価格の上昇などにより、前年同期比1億88百万円増の5億68百万円となりました。

素形材事業

当第2四半期の売上高は、自動車減産の影響はありましたが、鉄スクラップサーチャージの適用等に伴う販売価格の上昇などにより、前年同期比5億48百万円増の94億48百万円となりました。営業利益は、鉄スクラップサーチャージの適用等に伴う販売価格の上昇はありましたが、売上数量の減少や鉄スクラップ等の原燃料価格の上昇などにより、前年同期比40百万円減の1億65百万円となりました。

その他

子会社を通じて情報処理サービスを行っており、当第2四半期の売上高は前年同期比1億65百万円増の6億54百万円、営業損益は12百万円の黒字(前年同期は0百万円の赤字)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期末の総資産残高は、原燃料価格の上昇等に伴う棚卸資産の増加などにより、前期末比170億17百万円増の3,949億29百万円となりました。負債残高は、コマーシャル・ペーパーの増加や仕入債務の減少などにより、前期末比30億47百万円増の1,821億13百万円となりました。純資産残高は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上などにより、前期末比139億69百万円増の2,128億15百万円となりました。この結果、当第2四半期末におけるD/Eレシオ(純資産残高に対する有利子負債残高(現預金および関係会社預け金残高控除後)の割合)は0.36(前期末は0.30)となりました。

営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前四半期純利益（138億1百万円）、減価償却費（68億83百万円）、のれん償却額（14億37百万円）に対し、棚卸資産の増加（△128億86百万円）、仕入債務の減少（△124億52百万円）などにより、70億64百万円の支出（前年同期は2億12百万円の収入）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出（△66億73百万円）などにより、66億45百万円の支出（前年同期比20億47百万円の支出減）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フロー

コマーシャル・ペーパーの増加（169億98百万円）、配当金の支払（△24億48百万円）、長期借入金の返済（△15億21百万円）などにより、114億95百万円の収入（前年同期比92億91百万円の収入増）となりました。

これらにより、当第2四半期末における現金及び現金同等物（関係会社預け金を含む）の残高は、207億94百万円（前期末比10億62百万円減）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期の当社グループの業績は、当社単独におけるマージンの改善やOvakoの収益改善などにより前回開示時点（2022年7月28日）の予想を上回りましたが、今後につきましては、半導体不足等による自動車減産の継続やインフレ等による世界経済の減速が懸念されるなど、当社グループの事業環境は厳しい状況が続くと想定されます。このような中、下期におきまして、売上数量は前回予想を下回り、また円安の影響もありエネルギーコスト等が増加することが見込まれますが、サーチャージの適用拡大等の必要な対策を講じ、前回予想並みの収益の確保を目指してまいります。

これらの状況をふまえ、2022年7月28日に公表しました2023年3月期通期の業績予想を次頁のとおり修正いたしました。

2023年3月期業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(単位:千t、億円、円/株)

	今回予想	前回予想	増減
売上数量	1,599	1,640	-41
(内、当社単独)	881	910	-29
(内、Ovako)	603	615	-12
(内、SSMI)	115	115	—
売上高	3,850	3,830	+20
(内、当社単独)	1,890	1,880	+10
(内、Ovako)	1,630	1,620	+10
(内、SSMI)	242	245	-3
営業利益	196	155	+41
(内、当社単独)	88	70	+18
(内、Ovako)	121	104	+17
(内、SSMI)	4	3	+1
(内、のれん償却費)	▲29	▲29	—
経常利益	200	160	+40
(内、当社単独)	105	85	+20
(内、Ovako)	120	105	+15
(内、SSMI)	0	0	—
(内、のれん償却費)	▲29	▲29	—
税後利益(注2)	146	115	+31
1株当たり税後利益	267.95	211.06	+56.89
のれん償却費を除く営業利益	225	184	+41
のれん償却費を除く経常利益	229	189	+40
のれん償却費を除く税後利益	175	144	+31
のれん償却費を除く1株当たり税後利益	321.18	264.28	+56.90

(注1) 金額は億円未満を四捨五入しております。

(注2) 親会社株主に帰属する当期純利益。

また、上記業績予想の修正にともない、2023年3月期の配当予想を次のとおりいたしました。

	年間配当金(円)		
	第2四半期末	期末	年間
配当予想		30.00	85.00
当期実績	55.00		
前期実績(2022年3月期)	45.00	45.00	90.00

(注) 業績予想等につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいて当社グループで判断したものであります。予想には、様々な不確定要素が内在しており、実際の業績等はこれらの予想数値と異なる場合があることをお含みおきください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,483	12,767
受取手形、売掛金及び契約資産	69,019	65,812
電子記録債権	8,706	11,462
商品及び製品	26,761	31,300
仕掛品	58,088	64,241
原材料及び貯蔵品	28,661	33,686
未収還付法人税等	17	19
関係会社預け金	7,924	8,680
その他	7,196	9,630
貸倒引当金	△356	△446
流動資産合計	220,503	237,155
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	70,916	68,397
その他(純額)	41,058	44,083
有形固定資産合計	111,974	112,481
無形固定資産		
のれん	33,284	33,151
その他	4,102	3,903
無形固定資産合計	37,386	37,054
投資その他の資産	8,046	8,238
固定資産合計	157,407	157,774
資産合計	377,911	394,929
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	49,425	41,515
短期借入金	37,673	38,306
コマーシャル・ペーパー	12,001	28,999
未払法人税等	5,475	4,584
賞与引当金	2,167	2,214
環境対策引当金	3	3
その他	23,490	22,333
流動負債合計	130,237	137,957
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	19,324	17,901
役員退職慰労引当金	68	47
債務保証損失引当金	1	0
環境対策引当金	206	204
退職給付に係る負債	12,165	8,331
その他	7,063	7,669
固定負債合計	48,828	44,156
負債合計	179,066	182,113

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	53,800	53,800
資本剰余金	51,486	51,486
利益剰余金	85,732	93,151
自己株式	△28	△30
株主資本合計	190,991	198,407
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,382	1,363
繰延ヘッジ損益	2,134	3,301
為替換算調整勘定	4,119	6,349
退職給付に係る調整累計額	△1,633	1,438
その他の包括利益累計額合計	6,003	12,452
非支配株主持分	1,850	1,955
純資産合計	198,845	212,815
負債純資産合計	377,911	394,929

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	183,294	195,408
売上原価	152,589	163,546
売上総利益	30,704	31,862
販売費及び一般管理費	20,307	18,688
営業利益	10,397	13,174
営業外収益		
受取利息	58	58
受取配当金	69	78
為替差益	—	608
受取賃貸料	262	143
その他	141	167
営業外収益合計	531	1,056
営業外費用		
支払利息	327	394
為替差損	0	—
その他	109	116
営業外費用合計	437	510
経常利益	10,491	13,719
特別利益		
固定資産売却益	42	233
投資有価証券売却益	92	—
特別利益合計	134	233
特別損失		
固定資産除売却損	108	123
関係会社整理損	—	28
投資有価証券評価損	0	—
特別損失合計	109	151
税金等調整前四半期純利益	10,517	13,801
法人税、住民税及び事業税	2,272	4,115
法人税等調整額	864	△114
法人税等合計	3,136	4,000
四半期純利益	7,380	9,800
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	90	△70
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,290	9,870

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	7,380	9,800
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△198	△19
繰延ヘッジ損益	380	1,166
為替換算調整勘定	1,679	2,311
退職給付に係る調整額	394	3,072
持分法適用会社に対する持分相当額	42	129
その他の包括利益合計	2,298	6,661
四半期包括利益	9,678	16,461
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,510	16,320
非支配株主に係る四半期包括利益	168	141

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	10,517	13,801
減価償却費	8,762	6,883
のれん償却額	2,018	1,437
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1	63
賞与引当金の増減額 (△は減少)	12	46
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	174	109
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	122	121
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△4	△20
環境対策引当金の増減額 (△は減少)	△239	△7
債務保証損失引当金の増減額 (△は減少)	△0	△0
受取利息及び受取配当金	△127	△136
支払利息	327	394
投資有価証券売却損益 (△は益)	△92	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	0	—
固定資産除売却損益 (△は益)	66	△109
売上債権の増減額 (△は増加)	△14,736	2,028
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△18,759	△12,886
仕入債務の増減額 (△は減少)	13,600	△12,452
その他	△886	△1,051
小計	756	△1,778
利息及び配当金の受取額	126	136
利息の支払額	△330	△397
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△339	△5,024
営業活動によるキャッシュ・フロー	212	△7,064
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△8,767	△6,673
有形固定資産の売却による収入	81	407
無形固定資産の取得による支出	△422	△133
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
投資有価証券の売却による収入	553	—
長期貸付けによる支出	△0	△3
長期貸付金の回収による収入	0	0
定期預金の預入による支出	△602	△309
定期預金の払戻による収入	477	277
その他	△12	△209
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,693	△6,645

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	2,562	△1,090
コマーシャル・ペーパーの純増減額 (△は減少)	3,000	16,998
長期借入金の返済による支出	△2,689	△1,521
リース債務の返済による支出	△653	△392
自己株式の取得による支出	△3	△2
自己株式の売却による収入	0	—
配当金の支払額	△0	△2,448
非支配株主への配当金の支払額	△1	△37
その他	△9	△10
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,204	11,495
現金及び現金同等物に係る換算差額	290	1,152
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△5,985	△1,062
現金及び現金同等物の期首残高	24,881	21,857
現金及び現金同等物の四半期末残高	18,895	20,794

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

前第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	鋼材	粉末	素形材	計				
売上高								
外部顧客への売上高	172,165	2,182	8,899	183,247	46	183,294	—	183,294
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,537	—	—	4,537	442	4,980	△4,980	—
計	176,703	2,182	8,899	187,785	488	188,274	△4,980	183,294
セグメント利益 又は損失(△)	9,772	379	205	10,357	△0	10,357	40	10,397

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含んでいない情報処理サービス事業であります。
 2. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去であります。
 3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	鋼材	粉末	素形材	計				
売上高								
外部顧客への売上高	183,237	2,605	9,448	195,291	117	195,408	—	195,408
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,614	—	0	4,614	537	5,151	△5,151	—
計	187,851	2,605	9,448	199,905	654	200,560	△5,151	195,408
セグメント利益	12,367	568	165	13,101	12	13,113	60	13,174

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含んでいない情報処理サービス事業であります。
 2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

参考資料

2023年3月期 第2四半期決算発表

1. 当第2四半期の業績と業績予想

(単位：千t、億円、%)

	当第2四半期 (実績)	前第2四半期 (実績) (※2)	増減	増減率	業績予想 (※1)
					通期
売上高	1,954	1,833	121	6.6	3,850
(内、当社単独)	965	796	169	21.3	1,890
(内、Ovako)	857	930	△73	△7.8	1,630
(内、SSMI)	99	77	22	29.1	242
営業利益	132	104	28	26.7	196
経常利益	137	105	32	30.8	200
(ROS)	(7.0)	(5.7)	(1.3)		(5.2)
(内、当社単独)	70	52	17	33.6	105
(内、Ovako)	89	68	21	30.6	120
(内、SSMI)	△2	2	△3	—	0
(内、のれん償却費)	△14	△20	6	—	△29
親会社株主に帰属する 当期純利益	99	73	26	35.4	146
売上数量	812	1,079	△267	△24.7	1,599
(内、当社単独)	458	511	△53	△10.4	881
(内、Ovako)	303	511	△208	△40.7	603
(内、SSMI)	51	57	△6	△10.1	115
設備投資	44	66	△23	△34.0	140
減価償却費	69	88	△19	△21.4	145

(※)1. 予想(10月以降)の主要前提：鉄スクラップ(姫路地区H2市況) 50.0千円/t、原油(ドバイ)100\$/BL、為替 145円/\$、140円/€
2. 前第2四半期のOvakoの売上数量および損益、のれん償却費は、2021年1~9月実績を織り込んでおります。

(参考) 四半期業績推移

(単位：千t、億円、%)

	2022年3月期					2023年3月期	
	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期	4-6月期	7-9月期
売上高	1,106	727	860	939	3,633	1,041	914
営業利益	85	19	40	70	214	88	44
経常利益	85	20	40	71	217	93	44
(ROS)	(7.7)	(2.8)	(4.7)	(7.6)	(6.0)	(8.9)	(4.9)
親会社株主に帰属する 当期純利益	61	12	29	51	153	69	30

2. 当第2四半期の経常利益増減要因 (対前年同期)

(単位：億円)

増 益 要 因		減 益 要 因	
1. 販売価格・構成	208	1. 原燃料価格	155
2. 単独営業外損益	12	2. 販売数量	18
3. 変動費コストダウン	1	3. 諸資材・外注・物流費等	17
4. Ovako経常利益	46	4. 固定費	8
		5. 修繕費	6
		6. 連結子会社経常利益等	13
		7. Ovako決算期変更影響	18
計 (A)	267	計 (B)	235
		差引 (A) - (B)	32